

枅富町長 皆さん、おはようございます。本日、ここに令和8年第1回定例会を招集しましたところ、議員各位におかれましては、公私何かとご多用中のところ、ご出席を賜り誠にありがとうございます。まず初めに、2月20日議員の皆様にご説明し、また、2月25日に記者会見した、現金紛失の件ですが、現在、警察に被害届を提出し、本町としましても、事実関係の詳細な調査を進めているところですが、今のところ進展はありません。町民の皆様をはじめ、関係者の方々に多大なご迷惑とご心配をお掛けしたことにつきまして、重ね重ねお詫び申し上げます。それでは、議案説明に先立ちまして、年度の始めとなりますので、町政の取組みに対する一端を述べさせていただきます、議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。牟岐町は、現在建設中の、大規模災害時防災拠点となる、役場新庁舎及び海部消防組合新庁舎新築事業は、令和9年1月末完成を目指し、事業を進めています。建物完成後は防災無線やネットワーク移転整備を進め、できる限り早期の新庁舎開庁を目指します。南海トラフ巨大地震対策としましては、政策監を核として、南海トラフ巨大地震などの大規模災害及び自然災害が発生した場合など、緊急事態の発生時の初動対処に万全を期すため、迅速かつ的確な意思決定と各課の横断的、総合的な対応及び他の関係機関との協力体制を築きます。次に、人口減少・少子高齢化対策、農林水産業、商工業の振興などについては、第3期牟岐町総合戦略の1年目とし、「牟岐町への新しい人の流れをつくる」「牟岐で安心して働ける雇用の場をつくり、これを支える人材をつくる」「結婚・出産・子育ての希望を叶え、誰もが活躍できる地域社会をつくる」「時代にあった地域をつくり、安全・安心な暮らしを守るとともに、地域と地域の連携をつくる」の4つの基本目標を掲げ、人口減少・少子高齢化対策、農林水産業、商工業の振興などの地方創生を推進するため、取り組んでまいります。人口は、町の体力であり、少しでも人口減少を食い止めていかなければなりません。次に、少子化対策としましては、妊娠・出産に対して不妊治療費や不育症治療費の助成、給付金の支給や健診の交通費助成を行うとともに、保健師や助産師による相談や情報提供、家庭訪問などを併せて実施することで妊産婦の不安の軽減に努めます。子育て家庭については、乳幼児相談、健診、発達相談、教室等を引き続き行い、子育て支援が充実するよう努めてまいります。認知症関連としましては、認知症の方、ご本人・ご家族の支援ニーズと認知症サポーターをつなぐ仕組みである「チームオレンジ」の充実を目指します。新年度から、町内3地区にて認知症カフェを開催予定としており、認知症サポーターや社協とともに準備を進めています。今後とも、老人会や社協、各事業所等のご協力をいただきながら、高齢者

の生きがいと健康づくりに取り組み、みなさまが住み慣れた牟岐町で、人生の最後まで自分らしく生活できるよう、取り組みを実施してまいります。一次産業の振興としましては、引き続き一次産業の方々と協議し知恵を出し合い、今後の一次産業の活性化をあらゆる角度から考え施策を展開したいと考えています。認定農業者や新規就農者、集落営農組織など、意欲と能力のある担い手につきましては、特に支援してまいりたいと考えています。商品開発・特産品開発の点では、引き続き徳島文理大学がJAと連携し、もち麦、実生ゆずなどを活用した特産品の開発を進めていますので、水産資源栽培センターを活用して共同研究しているヒトエグサや、ジビエ活用とも連携を図り、ふるさと納税返礼品や、町内飲食店での新たなメニューの開発に取り組んでいただけるよう支援を考えていきたいと思っております。道路網の整備促進に関しては、阿南安芸自動車道、牟岐バイパスの早期完成に向け関係自治体と連携し、国への要望活動に取り組みます。そして、交通網の充実を図るとともに、これらの道路整備を町の各種取り組みと連携させることで、整備効果の最大化を図ります。現在、大型事業が重なり、財政状況が大変厳しい中、緊縮財政に努めなければなりません。事務事業の見直しも必要になると思っておりますが、牟岐町を元気にするため、みんなで知恵を出し合い、ひとつひとつ誠意をもって、それぞれの課題解決に向けて、これからも取り組みを進めてまいりますので、今後の皆さま方のご指導、ご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。次に、議案等の提案説明に入る前に、12月議会以降の町政の動き、主な事務事業の進捗状況など行政報告をさせていただきます。総務課関係では、1月に、南海レスキュー、徳島県及び美馬市と連携した牟岐町実動訓練を行い、出羽島からホイストによる患者搬送訓練や、牟岐町救護所にアムダを迎え救護所運営訓練を初めて行いました。2月には、牟岐町合同災害対処実動演習を、災害が発生したとの想定に基づき、津波による浸水の影響がなくなったのち、各職員は速やかに災害対策本部を立上げるとともに、適時適切な状況判断と災害応急処置及び復旧要領等について同時並行で演練しました。デジタル推進課関係では、本年度美波町と合同によるフォトコンテストの募集を行ったところ、牟岐町では167点美波町では152点の応募がありました。2次審査も終わり現在受賞者の選考中です。住民福祉課関係では、物価高騰に対する支援として、75歳以上の方へ重点支援給付金を給付しました。また、18歳までの子どもに給付される応援手当も児童手当受給者へ給付しています。健康生活課の保健事業では、総合健診を1回、エコー検診を3回実施した他、ICTを活用した健康づくりを実施。ヘルスマイト事業関係で、全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクトを開催しま

した。母子保健事業では、乳幼児相談を4回、乳幼児健診・乳児股関節脱臼検診・産後ママ健診・離乳食教室・親子料理教室・産後ママ教室をそれぞれ1回実施し、自殺予防対策として、中学生を対象にした助産師によるいのちの授業を行いました。介護予防事業では、老人会向けのフレイル予防に関する講習会を、3回シリーズで実施しました。また、新年度から、町内3地区にて認知症カフェを開催予定としており、認知症サポーターや社協とともに準備を進めています。産業課関係では、牟岐町観光VRコンテンツ(海中映像)が完成しました。また、国の物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を活用し、「牟岐くらし応援商品券」を配布できるよう準備を進めています。企画政策課関係では、令和7年12月には、都市部における関係人口の拡大および連携強化に向け、大阪・京都・東京において、各大学や学生団体と連携した企画・イベントを実施しました。令和8年2月には、徳島大学建築サークルAUTの学生が、牟岐小学校から要望のあったベンチを製作し、小学1・2年生とペンキ塗りのワークショップを実施するなど、多様な活動が展開されています。また、令和8年2月15日、日曜日に大阪市本町のイベントスペースを会場に、第2回目となるふるさと牟岐親睦交流会を開催しました。ふるさと納税については、本年度、令和7年4月1日から令和8年1月31日までの寄付金額は644万7千円となり、昨年度と同時期642万6千円とほぼ同額で推移しています。今後は、町内の魅力的な返礼品の掘り起こしに加え、情報発信の強化に努め、牟岐町を応援したいと思っただけの関係人口のさらなる拡大を図ってまいります。建設課関係では、現年度事業については、そうの谷橋、石ヶ戸谷橋、玉笠2号橋・3号橋の修繕工事を竣工し、町道喜来1号線の道路維持補修工事を発注しています。また、空き家再生等促進事業においては、4件の除却を完了しています。新庁舎建設事業に係る第1期敷地造成工事の進捗率は、2月末時点で約99%です。令和7年度末までに施工すべき箇所は、ほぼ完成しています。牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事の進捗率は2月末時点で18.1%です。役場新庁舎は南側から基礎の工事に着手しており、海部消防組合新庁舎は基礎が完了しています。両庁舎とも工程どおり順調に進んでいます。付帯工事の危険物保管庫・倉庫棟新築工事については、本議会の承認後、工事に着手します。完成は、令和8年9月30日を予定しています。関連工事では、給水管布設工事を発注しています。水道課関係では、防災拠点整備山田地区配水管の耐震管布設替工事が2月末に完了しました。教育委員会関係では、新しく二十歳となった方々を迎え「牟岐町二十歳の集い」を1月3日に開催しました。また、長らく町民の皆様にご迷惑をおかけしていました海の絵

合文化センター大ホールのエアコンの修繕が完了し3月1日より供用を開始しています。皆様のご利用をお待ちしています。今後も、事業等の進捗状況等ご報告させていただきますので、皆様のご指導、ご助言をよろしくお願い申し上げます。それでは、本定例会の提案説明に入りたいと思います。タブレットのリストから10番3月議会議案書をご覧ください。本定例町議会に提出の案件は25件です。内訳は報告1件、条例4件、補正予算4件、当初予算6件、人事案件1件、その他9件です。報告第1号専決処分した事項の承認。専決第9号令和7年度牟岐町一般会計補正予算。2ページをお開きください。この専決予算は、物価高対応子育て応援手当支給事業及び牟岐くらし応援商品券事業を早急に着手する必要があるため、12月18日に専決をしました。歳入・歳出それぞれ総額、1億928万6千円を追加し、予算総額を89億522万5千円とする令和7年度一般会計の補正予算です。専決第1号令和7年度牟岐町一般会計補正予算。この専決予算は、衆議院議員総選挙の執行経費が早急に必要となったため、1月23日に専決をしました。歳入・歳出それぞれ総額、564万9千円を追加し、予算総額を89億1,087万4千円とする令和7年度一般会計の補正予算です。1ページにお戻りください。議案第1号特別職の指定に関する条例及び牟岐町カスタマーハラスメント防止条例の一部を改正する条例。「危機管理監」の役職名を「政策監」に改めるものです。本町を取り巻く行政課題は、南海トラフ巨大地震、激甚化する自然災害への備えをはじめ、交通空白の解消、人口減少対策、地域経済の活性化、地域創生など、極めて複雑かつ多岐にわたっています。かかる現状認識のもと、これら喫緊の諸課題に対し、各課横断的な調整を図り、戦略的かつ迅速に政策を推進するためには、特別職として、新たに「政策監」を配置することが不可欠であると考え、同時に適任者を任命いたしたく、ここに提案するものです。この度、政策監として選任をお願いしたいのは、本町の白木健治危機管理監です。白木危機管理監の持つ現場判断力と高い専門性は、南海トラフ巨大地震を見据えた危機管理体制の構築や、職員の意識改革において遺憾なく発揮され、町の災害対応力は飛躍的に向上しました。そこで、政策監には、本町の防災・減災施策をはじめ、危機管理体制の更なる強化を軸とした重要施策に対し、統括、指導し、方針の明示から計画の策定、それを実行に移すまでの極めて高度な業務を担っていただくことを想定しています。白木危機管理監の的確な状況判断と企画力、目的達成に向けた旺盛な行動力、そして組織を牽引する統率力を、単に危機管理の枠内にとどめることなく、防災・危機管理と政策を融合させた新たな視線での課題解決を図っていただくなど、町行政全般に活かしていただきたいと

考えています。白木危機管理監には、この4月から政策監として大森副町長とともに町政の枢要を担っていただくことで、町民の皆さまがより安心して暮らせる「活力ある牟岐町の創造」を加速させてまいる所存ですので、ご審議の上、何卒ご同意賜わりますようお願い申し上げます。議案第2号特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例。非常勤の特別職に無人航空機アドバイザーを加えるものです。議案第3号牟岐町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例。令和7年人事院勧告に伴う牟岐町職員の通勤手当等を改正する条例です。議案第4号牟岐町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例。牟岐町会計年度任用職員等の初任給調整手当を廃止する条例です。議案第5号牟岐斎場の指定管理者の指定。牟岐斎場の指定管理者に徳島県農業協同組合を指定するものです。議案第6号牟岐町喜来多目的集会所の指定管理者の指定。牟岐町喜来多目的集会所の指定管理者に喜来部落会を指定するものです。議案第7号辺川農業構造改善センターの指定管理者の指定。辺川農業構造改善センターの指定管理者に辺川部落会を指定するものです。議案第8号大戸漁村センターの指定管理者の指定。大戸漁村センターの指定管理者に牟岐町漁業協同組合を指定するものです。議案第9号出羽島漁村センターの指定管理者の指定。出羽島漁村センターの指定管理者に牟岐町漁業協同組合を指定するものです。議案第10号過疎地域持続的発展計画の策定。過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第8条の規定により計画を策定するものです。令和8年度からの5か年計画となります。議案第11号工事請負契約の変更。令和6年度 防災拠点敷地造成工事について、変更工事請負契約を締結するため議会の議決を求めるものです。議案第12号工事請負契約の締結。令和7年度光成端架設置および光ケーブル線路増設工事の工事請負契約を締結するため、議会の議決を求めるものです。議案第13号令和7年度牟岐町一般会計補正予算。今回の補正予算の歳出で主なものを挙げますと、2款・総務費の戸籍住民登録費で戸籍の附票システム改修業務などを計上。3款・民生費の老人福祉費で老人保護措置費の増額分などを計上。4款・衛生費の繰出金で牟岐町簡水繰出金の出羽島簡水不足分を計上。5款・農林水産業費の林業振興費で森林整備事業の増額分などを計上。8款・消防費の防災費で避難所QOL向上事業などを計上。9款・教育費の総合文化センター施設管理費でエレベータの修繕料などを計上。歳入では、繰越金のほか、分担金負担金、国庫支出金、県支出金、町債を特定財源として充てています。歳入歳出、2, 227万7千円を追加し、予算総額を89億3, 315万1千円とする

令和7年度一般会計補正予算です。議案第14号令和6年度牟岐町簡易水道事業会計補正予算。今回の補正予算は、従来の出羽島簡易水道の補填分を一般会計からの補助金として1,800万円計上し、水道事業収益の総額を1億4,834万2千円とするものです。議案第15号令和7年度牟岐町国民健康保険特別会計補正予算。今回の補正予算は、歳入歳出5,050万4千円を追加し、予算総額を6億643万6千円とするものです。歳出は、総務費、保険給付費、諸支出金の増額。歳入は、県支出金、繰入金、繰越金を計上しています。議案第16号令和7年度牟岐町介護保険特別会計補正予算。今回の補正予算は、歳入歳出2,800万円を追加し、予算総額を7億5,852万9千円とするものです。歳出は、保険給付費の介護サービス等諸費の増額。歳入は、介護保険料、国庫支出金、繰入金を計上しています。議案第17号令和8年度牟岐町一般会計予算。令和8年度の予算総額は、48億6,480万1千円で、令和7年度当初予算額より19億9,847万2千円の減額予算となっています。新年度の予算で、新たなもの、特徴的なものについて述べます。まず、人件費ですが総額で2,775万9千円の増額となっています。人事院勧告によるものが主な要因です。1款・議会費は3万8千円の増額です。前年度とほぼ同程度の予算編成です。2款・総務費は27億4,451万3千円の減額です。大きな要因は、庁舎建設費で役場庁舎及び消防庁舎の工事請負費のほとんどを前年度で計上しているためです。3款・民生費は4,750万4千円の増額です。老人福祉費で老人保護措置費増額。児童福祉費で地域こどもの生活支援強化事業も予算計上しています。4款・衛生費は1億636万9千円の増額です。清掃費で海部郡衛生処理事務組合負担金の建設費分が前年度より増額となっています。5款・農林水産業費は5,642万9千円の増額です。地籍調査費を予算化したことによるものです。6款・商工費は、241万9千円の増額です。シンポジウム事業、地方創生に向けて頑張る地域応援事業が増えたことが主な要因です。7款・土木費は、653万6千円の増額です。八坂残土処理場整備工事の増額が主な理由です。8款・消防費は、4億7,506万2千円の減額です。大きな要因は、常備消防費の海部消防組合負担金移転分のほとんどを前年度で計上している為です。9款・教育費は、417万9千円の減額です。牟岐町民プール修繕工事前年度計上していたことが主な理由です。また、今年度より小中学校の給食費を無料としました。10款・災害復旧費は、前年度と同額計上です。11款・公債費は、598万8千円の増額です。庁舎移転工事の利子が発生したことが主な理由です。12款・諸支出金は、9億9,999万9千円の増額です。財政調整基金の増額となっています。13款・予備費

は、令和7年度と同額です。続きまして、歳入です。町税は、523万3千円の増額です。地方譲与税から地方特例交付金までは、社会情勢に合わせ増減しています。地方交付税は、財源不足のため1億2,700万円増加しています。分担金負担金は、海部消防組合からの負担金減のため、11億7,595万1千円の減額となっています。使用料手数料は、97万2千円の減額です。国庫支出金は968万円の減額です。デジタル基盤改革支援補助金の減額が主な要因です。県支出金4,388万2千円増額です。地籍調査費を予算化したことが主な理由です。繰入金は、9億9,838万4千円の増額です。財政調整基金13億6千万円を取崩し、事業の財源としています。諸収入は1,011万8千円の減額です。学校給食費を無償にしたことが要因です。町債は、当初に過疎債からデジタル活用推進事業債まで合わせて8億6,950万1千円計上し、前年度より19億8,309万9千円の減額となっています。減額分は役場庁舎や消防庁舎等の借り入れ分となります。一般会計について、大まかな説明となりましたが、詳しくはのちほど、関係課長などから説明をさせていただきますのでよろしくお願いします。議案第18号令和8年度牟岐町簡易水道事業会計予算。令和8年度の業務予定量としては、給水戸数2,010戸、年間総給水量59万5千 m^3 、1日平均給水量1,631 m^3 とし、収益的収入を1億4,645万円、収益的支出を1億4,564万8千円と定めるものです。資本的収入は1,622万3千円、資本的支出は5,749万円と不足する額は、過年度分損益勘定留保資金で補填します。議案第19号令和8年度牟岐町国民健康保険特別会計予算。歳出では、保険給付費で955万2千円の減額、国民健康保険事業費納付金で643万9千円の減額となっています。歳入では、国保税が前年度に比べ187万5千円の減額、県支出金が940万6千円の減額となっています。歳入歳出当初予算総額を5億3,662万3千円と定めるもので、前年度に比べ1,615万7千円の減額予算です。議案第20号令和8年度牟岐町青少年健全育成センター特別会計予算。歳入歳出予算の総額を966万2千円と定めるものです。この会計は、美波町と海陽町の負担金760万7千円と牟岐町の一般会計から175万5千円の繰入金30万円を財源とする会計です。議案第21号令和8年度牟岐町介護保険特別会計予算。歳出は、保険給付費6億8,800万円、地域支援事業費4,394万円などを計上しています。歳入は、介護保険料1億1,175万5千円、国庫支出金2億3,276万4千円、県支出金9,308万5千円、支払基金交付金1億9,125万1千円、一般会計からの繰入金は、1億1,599万円となっています。歳入歳出当初予算総額を7億4,484万5千円と定めるもので、

前年度に比べ2,042万8千円の増額予算です。議案第22号令和8年度牟岐町後期高齢者医療特別会計予算。この会計は、後期高齢者医療の保険料を徴収し、一般会計からの保険基盤安定負担金分の繰り入れと合わせて、後期高齢者医療広域連合への給付金として支出する会計です。歳入では、特別徴収、普通徴収を合わせて、8,574万9千円の保険料、一般会計繰入金3,457万8千円など、歳出では、広域連合納付金1億1,979万6千円となっています。歳入歳出当初予算総額をそれぞれ1億2,135万7千円と定めるもので、前年度に比べ1,247万3千円の増額予算です。議案第23号牟岐町教育委員会教育長の任命。議案第23号としまして牟岐町教育委員会教育長の任命を提出させていただいています。議案第24号工事請負契約の締結。令和7年度防災拠点整備事業、危険物保管庫・倉庫棟新築工事の工事請負契約を締結するため、議会の議決を求めるものです。以上で提案説明を終わりますが、詳細については関係課長などから説明をさせますので、よろしくご審議のほど、お願いします。